

基本目標4 家庭・地域の教育力の向上

1 家庭・地域の教育力の向上

①家庭の教育力の向上

家庭は、子どもたちにとって心のよりどころであると同時に、基本的な生活習慣を身につける場所であるなど、家庭は、子どもの教育に関して、第一義的な責任を有しています。

しかし、核家族化や少子化、人のつながりの希薄化などの中で、過保護・過干渉や過度の放任、児童虐待、地域から孤立した親の育児不安の広がりなど、家庭の教育力の低下が懸念されています。

このような状況の中で、家庭教育に関する情報や学習機会の提供、相談体制の充実等を通して、家庭の教育機能を高める必要があります。

○「親育ち」支援の充実

家庭教育支援チームの設置や子育てに関係する機関とのネットワークの構築など、学校や地域、企業を含めた社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。

また、専門的な知識を持ったサポーターの養成など、子育てに関する相談活動や講座の企画運営を行う人材を育成します。

テレビ放送等で参加型の家庭教育番組を提供し、地域社会の中で孤立する親が「孤独な子育て」から一歩踏み出せる環境をつくれます。

○保育所や幼稚園と連携した「親力」の向上

保育園等と協力して、保護者自らが「一日保育士」を体験する活動を進めることにより、親の役割の大切さや子育てについて学ぶ機会をつくれます。

○「子育ての知恵」の継承

これから親になる人に対して、子育てに関する教育や啓発活動を充実します。

地域の伝統行事や伝統文化を守り育てる活動を通して、世代間交流の促進と子育ての知恵の継承を図ります。

○子育て支援機能の充実

一日保育体験による親心の育成、子育てについての指導・助言、情報の提供など、保育所や幼稚園等の人的・物的資源を活用して、地域の子育て支援を促進します。

②地域の教育力の向上

都市化や核家族化等により地域のつながりが希薄になるとともに、地域の中で子どもたちが体験する機会が失われつつあるなど、地域の教育力の低下が指摘されています。

このため、これまでの地縁による支え合いに加えて、行政や民間団体、ボランティア等の連携により、社会全体で子どもを育てる活動を積極的に進める必要があります。

一方、学校においては、地域・学校協議会の設置や学校支援ボランティアの導入により、学校と地域とが協力する機会が増えてきています。

学校と公民館や社会教育団体、NPO等のネットワークづくりを進め、次の時代を担う子どもたちが地域社会の中で成長できるよう、さまざまな人との交流ができる環境を整備します。

○地域づくり・人づくりの推進

公民館や社会教育団体、ボランティア団体、NPO等が協働し、地域づくりや人づくりについて地域が持つ課題に対応できる体制づくりを支援します。

また、社会教育団体の自立と活動の充実を支援し、地域人材の発掘と育成に努めます。

○地域による学校支援の充実

県内各地では、市町や住民団体が協力して進める環境保護や伝統文化の継承などの活動がすでに行われています。これらを基に、「地域教育プログラム」をつくり、児童生徒が豊かな自然の中で体験活動や環境学習を深める機会を充実します。

青少年教育施設の機能を見直し、地域の人材の活用を図るとともに、異世代交流を深めることにより、さまざまな課題を抱えた青少年の自立を支援します。

P T A等関係機関や企業等との協働により、学校安全ボランティアの組織の整備や連携の強化を進めます。

○放課後子どもクラブの拡充

小学校児童が放課後などを安全・安心に過ごせる環境を一層充実するため、全小学校区で放課後子どもクラブを設置するとともに、対象児童の拡大や、空き教室等学校施設を活用した運営を進める市町を支援します。